

加西インター産業団地について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 1-2 工区は、3 月の工事完了、リスパックへの引渡しが見えてきたが、市長としてここにかける思いをお聞かせ願いたい。

答 (市長) 加西インターチェンジが後付けでも完成したこと、そして圃場整備が出来ていない田が 150 ヘクタールもまとまって残っていたこと、この 2 つは奇跡的なことで、その奇跡をチャンスに出来たと感慨深く思っています。

1-2 工区に大きな企業が進出決

定し、3 月には引渡しが出来る状況になってきましたが、インター周辺地域は広く、次に 1-1 工区、2 工区、4 工区のめどをどうつけていくのかが大きな課題でした。しかし、リスパックの進出や内陸部の交通の要所に企業を移転したいという産業界の大きな力も働いている状況の中、開発事業者、進出予定企業とも多数応募があります。1-1 工区、2 工区、4 工区への企業進出がおおむね決まってくる状況を早く作り、次にインターのすぐ足元である 3 工区、また 5 工区も法手続を開始しなければなりません。県の許可を得るには企業が進出する実現可能性が必要で、やはり 1-2 工区が完成して、1-1、2、4 工区もある程度出来てきたという状況を作らなければ、次に進めません。この任期のうちに 3、5 工区の手続を進めることが出来るよう、1-1、2、4 工区の整備を頑張っ

ていきたいと思っています。

官民連携事業として開発事業者の力も借りながら、進出企業がおおむね決まるという状況を早く作りたいと思っています。地元の方にはご協力をいただくことがたくさんあると思いますが、引き続きご協力をよろしくお願いします。

要望 ぜひ早く順次進めていただきたい。操業による税収増、雇用による人口増とも加西市の活性化につながるので、頑張ってください。

■その他の質問項目

- ・加西市役所窓口業務について
- ・加西市内企業の状況について
- ・加西市の市税の徴収状況について
- ・令和 2 年度高校入試等進路状況について

屋内型遊戯施設とテレワークセンターについて



佐伯 欣子 議員
(21 政会・加西とも子育て会)

問 現在の設計状況と施設の全体のビジョンについて。

答 令和 2 年 12 月中に予定している設計案では、ワークショップ等での子育て世代や女性の声を反映するよう依頼し、令和 2 年度中の設計業務完了、令和 3 年度の工事発注、年内完成、年度内オープンを目指しています。アステシアかさいに整備することにより、子育て支援と合わせて駅前のにぎわい創出、移住への動機付け、新しい働き方の推進につなげること等を目的としています。

問 施設の運営について。

答 民間のノウハウを生かすため、指定管理等、より良い運営形態を見定めたいと考えます。プレイヤーの育成や配置、子供の一時預りのための保育士配置の検討など、様々な利用者ニーズに対応したいと考えます。

問 利用料金について。

答 無料ではなく、適切な金額設定を検討しています。カフェとのセット料金など、利用形態を含めて料金体系を組み立てていくべきと考えます。

問 子育てキッズや図書館との連携について。

答 アステシアかさいには図書館や地域交流センター、ふるさとハローワークや国際交流協

会等が入居し、これらと連携した読み聞かせや英語との触れ合い、起業セミナーの場の提供なども考えられます。地域の子育て広場との連携は、今後担当部署と検討していきます。

問 未来型児童館との差別化について。

答 児童館は健全な遊び場として健康と情操を高める施設です。未来型児童館は、教育委員会を中心に来年度の基本計画策定を予定しています。それぞれの施設の役割を発揮し、子育てしやすいまちとして市の魅力アップにつながるよう努めていきたいと考えます。

要望 市内全体で、子育て世帯への支援や子育てしやすい仕組みを共有できるよう、横の連携を図っていただきたい。